

就労移行支援連絡会〈11月の会〉



第2回 事業所見学会 開催！

帯広はちす園の活動を見学

今回の見学会の担当

はちす園 サービス管理責任者 丹羽さん
支援員 根本さん（左から）

今回は、6つの就労移行支援事業所、帯広市障害福祉課、事務局である当センターの職員を含めて総勢18名が参加しました。当日は、見学会に加えて、定例会も行われました。以下、それぞれの報告になります。

【事業所見学会（帯広はちす園）】

ビニールハウス内の作業活動を見学した後、帯広はちす園における利用開始から一般就労後のフォローアップ等の支援の流れについての説明を受けました。質疑応答では施設管理や椎茸栽培・食品製造等の事業設立に関する経緯についても、意見が交わされました。



利用者さんのほぼ全てが知的障がいの方であり、利用定員6名に対して支援員を3名配置することで、利用者さん一人ひとりに対応する時間を十分に確保できる支援体制づくりをされている様です。障がい特性の理解や関わり方など、支援員間で統一することを大切にされており、それらが事業所としての強みであるという話を伺いました。

【定例会（企業との意見交換に向けて）】

10月の定例会で出ていた話しを元に、1月に企業との意見交換会を行うことになり、定例会では意見交換会に向けて話し合い、以下の案が出されました。

- ①就職までのステップアップや利用できる制度を共有したい
- ②企業が感じている障がい者雇用に結びつかない理由を知りたい
- ③障がい者雇用を進める際の企業側の着目ポイントを知りたい・共有したい
- ④企業が求める求職者像（職業準備性、適性、生活能力等）を知りたい
- ⑤職場実習を受け入れられる期間や内容、体制について知りたい

次回は上記の③～⑤に関して、各事業所の基準や着目している支援のポイントを持ち寄り、話し合うことになりました。

【後記】

定例会の中で事務局より、今後開催予定の「仕事の魅力発見フェス」「企業との意見交換会」について情報提供をさせていただきました。企業と福祉事業所が顔を合わせ、お互いをより知り合える機会になると思います。同一地域の福祉サービスや関係機関、企業との相互理解が進み、障がい者雇用の促進や定着に繋がるように、共に活動していきたいと考えております。

十勝勝障がい者

就業・生活支援センター

だいち



就労移行支援事業所連絡会 について

会の目的や今年度の活動方針については、[4月の記事](#)をご参照ください。

随時、活動の報告をしております。

下記リンク先の記事もご覧ください。

[5月](#) [6月](#) [7月](#) [8月](#) [9月](#)

[10月](#)

※8月はグローアップ研修の報告です

担当事業所のご紹介

今月は“帯広はちす園”です。

下記リンクもご確認ください。

[訪問記事](#)

[資源マップ](#)

今後の予定

12月：連絡会

1月：見学会（いきものがかり）

2月：連絡会

3月：見学会（クローバー）